

## ① なくそうゴミ問題

西海協研修センターでは今年10月より、研修センター前に専用のゴミステーションを設置しました。

現在、研修センターおよび1号館に居住する実習生に利用させています。

毎朝、センター職員がゴミステーションの中のゴミを確認し、分別ができていないゴミは生きた教材として在籍する実習生全員に見せ、その場で再度分類させています。



## ② なくそうコンビニたむろ

研修センターおよび実習生が住む寮には従来、インターネット環境がありませんでした。そのために、無料インターネット環境(Wi-Fi)がある近くのコンビニやその周辺に実習生が集まって通行の妨げになったり、その時に談笑する声が大きくて近隣の方に不愉快な思いをさせてしまったりすることがありました。

研修センターは実習生の各寮に無料のインターネット回線を設置し、9月15日よりその利用を開始しました。

実習生はわざわざ外出してコンビニなどに行く必要がなくなったと、とても喜んでおります。実習生を管理する研修センターにとっても、地域に迷惑をかけないことはもとより、彼らが外出先にて事故や事件など不測の事態に遭遇するリスクを低減させることができますので、安全上のメリットがあります。

住みよい地域社会の創生に役立てるよう今後も取り組んでいきます。



## ③ なくそう路上ゴミ

講習期間を終了した実習生は、それぞれ受入企業の所在地へ引越しをし、そこで3年間生活します。

実習生が引っ越し先で地域社会に馴染み、共生できるよう教育するのも研修センターの役割の一つです。

外国人ですし、知らず知らず近隣に迷惑を掛けることもあります、迷惑を掛けて終わり、では良くありません。

今後はできることから地域活動に取り組んでいきます。

11月9日は第1回目の自主清掃として、職員の指揮の下、22名の実習生が早朝から清掃活動を実施しました。

路上で地域の方から「ごろうさま〜」や「ありがとねー」と声をかけていただき、皆とても喜んでいました。

今後は月1回を目安に実施していきたいと考えています。

